

桜町再開発・MICE整備407億円は、 市政史上最大のムダづかい

市民の税金は、暮らし・福祉・教育のために!



国民健康保険

熊本市の国民健康保険料は、政令市の中で高い方から3番目です。12億円あれば、1世帯1万円の引き下げができます。



お金の使い方を
変えたら、
こんなことが
できます!

特定健診の無料化

2,200万円あれば、40歳以上の特定健診を無料化できます。

鍼灸マッサージ助成の拡充

1,600万円で年30回を60回に増やせます。

さくらカードの 無料化復活

2億3000万円で、高齢者も障がい者も無料にできます。

子ども医療費無料化

周辺市町村のほとんどは、すでに中学3年まで無料です。6億5000万円あれば、熊本市でも1カ月500円の窓口負担をなくして、中学3年までの無料化ができます。



小中学校の全教室に エアコン設置

27億円で、すべての教室に設置できます。

住宅・店舗リフォーム 助成制度の実現

住宅・店舗いずれのリフォームにも活用できる制度を創設できます。5億円の予算で、100億円の経済波及効果。(鹿児島市の実績で試算)



敬老祝金の復活・拡充

敬老祝品を「祝金」に戻し、7,700万円で削減された金額をもとに戻します。
80歳1,000円を5,000円に
88歳2,700円を10,000円に
100歳27,000円を50,000円に
101歳以上2700円を毎年10,000円に

維持管理費年10億円(大規模改修工事積立含む)、借金返済年15億円
孫子の代まで赤字たれ流し

3000人収容のMICE施設は時代遅れ 今からでもやめられます

福岡市を上回る、過大な利用見通し

福岡市・年8回の実績に対し 熊本市・年12回の見込み

人口が2倍、医学系大学3倍、ホテル部屋数6倍、国際空港が近く、国のグローバルマインシティに指定された福岡市を上回る利用見通しは過大です。

政令市だけでも18カ所のMICE施設があるのに、全国で開催数の1割を熊本で開催することは難しいと専門家も指摘しています。しかも10市が赤字です。孫子の代まで赤字をたれ流すハコモノはやめるべきです。



堺市では「都市計画決定」後に、 再開発をやめ、単独で建設

大阪・堺市は、「都市計画決定」が済んでいましたが、市長が替わり、再開発事業への参加を中止しました。145億円で建設できる芸術文化ホール建設は、再開発へ参加することで3倍もの事業費(450億円)がかかるからです。熊本市も、都市計画決定は済んでいますが、事業認可もまだなので、今からでもやめられます。

長崎市は、 議会の良識で建設にストップ

長崎駅の隣接地にMICE施設建設(3000人収容・総事業費216億円)を計画していた長崎市では、9月議会で、MICE建設用地取得の補正予算を全会一致で否決しました。莫大な費用が必要となること、既存施設でもMICEはやれている実績があること、市民・議会への説明が不十分で合意が得られていないことが理由です。

県民百貨店・ センタープラザを存続し、



(1000人が働く県民百貨店)

1400人の雇用を守りましょう

熊本市が桜町再開発にMICE施設を整備することによって、県民百貨店やセンタープラザテナントが追い出され、1400人の雇用が奪われようとしています。

市民の中にも、「中心街のにぎわいに県民百貨店は必要」「買い物難民がでる」など、県民百貨店の存続を求める声も広がっています。1400人の雇用を守るためにも、MICE整備をやめて、年間600万人が利用している県民百貨店を存続しましょう。

日本共産党

2014年・秋号

熊本市議団市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団 熊本市中央区手取本町1-1 TEL:328-2656 FAX:359-5047
メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp HP：http://www.jcp-kumamoto.com/



ますだ牧子



上野みえこ



なすまどか



市民のみなさんの願いを受け止め いのち・暮らしを守るためにがんばります

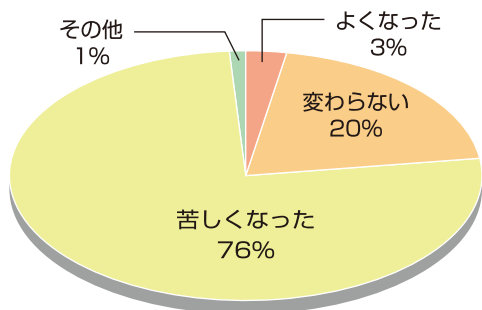
～「市民アンケートへのご協力ありがとうございます～」

市民のみなさまからお寄せいただいた「市民アンケート」が1,063通になりました。ご協力ありがとうございました。「暮らしが苦しくなった」は昨年のアンケートより、13%増え、76%にのびります。市政への要望のトップは県下14市で一番高い国保料の引き下げでした。自公政権による「アベノミクス」や幸山市政による負担増のダブルパンチで、市民の暮らしが苦しくなっていることがハッキリしました。

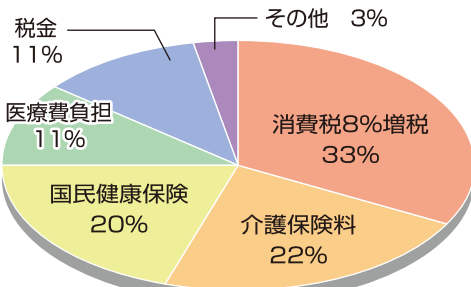
日本共産党は、「アンケート」の声をしっかり受け止め、いのち暮らしを守るためにがんばります。

暮らしは苦しくなった76%

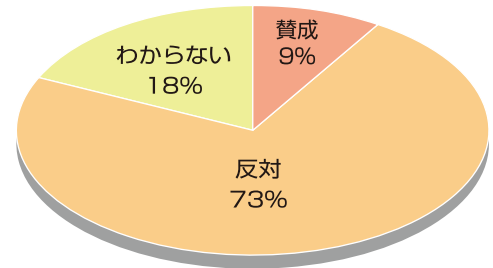
今の暮らしは？



「負担増の原因」は 年金減額・消費税8%



MICE施設建設 反対が73%



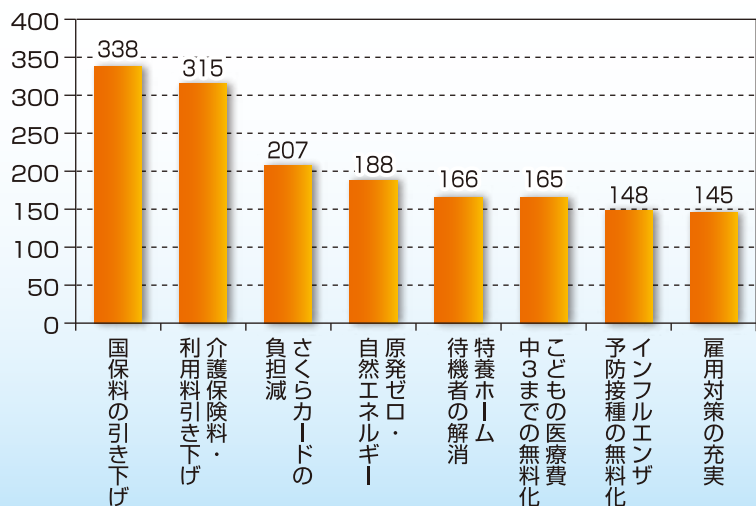
切実な声・声・声...

- * 40代の息子は、「国保料が高くて払えない」と言っています。県民百貨店をなくして会議場を建設して潤うのでしょうか。(北区・60代・女性)
- * 熊本県は時給が低く、非正規雇用では暮らせません。年金を増やしてもらいたい。医者にかかるのもガマンしています。暮らしやすい熊本にしたいです。
- * 妻が病気発症で、介護・介助のため自営業は廃業し、未収入。年金はない。蓄えがなくなれば心中しかない。(西区・70代)

MICE施設建設に反対する声・声・声...

- * ごまかしの需要見込をもとに、不透明な事業計画を強引に進めようとしている。(60代・男性)
- * 大型ハコ物は時代遅れです。各地で失敗がたくさん聞かれます。
- * 福祉や弱者に税金を使うべきだ。(50代)
- * ゼネコン政治の極み！絶対認められない。(50代・男性)
- * 大型ハコ物は、維持費もかかるので反対です。市民の意見をしっかり聞いてほしい。(60代)

熊本市への要望トップは「国保料の引き下げ」



消費税10%増税「反対」は73%(毎日)

熊本市議会は「増税中止」意見書不採択

国民・市民の中では「消費税増税を止めるべきだ」という声が渦巻いています。景気回復「実感できず」84.8%（共同通信）、消費税増税「反対」73%（毎日新聞）、「予定通り上げる」はわずか23%（NHK）など、最近の世論調査はその証明です。9月市議会では、「消費税増税中止を求める意見書」を共産党・市民連合で共同提案。しかし、自民・公明・くまもと未来・その他（自由クラブ、日本の教育を考える会、市政クラブ）の反対で不採択となりました。

党派を超え、市民の暮らし・経済を破壊する消費税増税中止のために力を合わせましょう。

お困りのご相談は日本共産党市議団へどうぞ
☎328-2656 Fax359-5047